



旧光丘高校 管理特別教室棟



旧光丘高校 普通教室棟

『旧光丘高校跡地の活用に向けた方針』を基本として、教職員や学校運営協議会、コミュニティ協議会の方々の現地視察、学校施設改修や施設安全点検の専門家からの助言等を踏まえ、このたび、具体的な施設の改修内容をまとめました。

旧光丘高校跡地の活用に向けた方針



①CSを核とした「地域教育力日本一」の更なる推進

- 地域や社会との交流の中で「社会に開かれた教育課程」の更なる充実を図り、子どもたちの学びをより豊かなものにします。
- 地域住民の学びや活動の場として学校を開放し、共に学び、交流する場を生み出します。
- 安全で快適な魅力ある教育環境の創造に向けて、学校・家庭・地域が連携・協働したチームとしての学校づくりを一層推進します。

■創作ゾーンの設置

- ※ 技術室（木工工作など）
- 家庭科室（調理など）
- 美術室（写生など）



■生徒・地域交流スペースの設置

■（仮称）サポートスタッフルームの設置

②小中一貫教育の更なる推進

- 小・中学校が近接し、校舎が広がります。
- 小学生が学ぶスペースの確保
※普通教室6部屋、多目的室（学年単位）

③部活動の地域移行に対応する新たな活動拠点の構築

- 複数のスポーツ活動や多彩な文化活動を可能にするグラウンドや特別教室があります。
- 音楽教室等の特別教室の開放

④安全・安心な教育環境の整備

- 敷地全体が土砂災害や洪水等のハザードに該当していないメリットを生かします。
- 避難所機能の充実
畳スペース、防災倉庫、調理実習室開放

⑤『新しい時代の学びを実現する学校施設』の視点

- 1人1台端末の日常的な活用に伴う個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、学びの空間も、画一的・均質的なものから、柔軟で創造的なものに転換していく必要があります。
- 創作ゾーン、柔軟で多様な学習を展開できる学びの創造ゾーン、機能性や居住性等を備えた執務空間、ユニット型普通教室ゾーン（生徒収納棚や交流スペースの設置）など

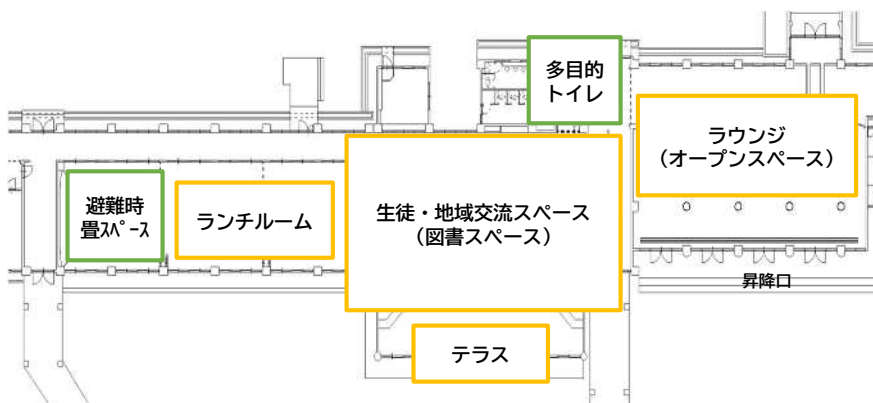
校舎改修工事の主な内容

1階 生徒・地域交流ゾーン

図書室を併設した生徒・地域交流スペース、ランチルーム、オープンスペース、テラスなどを設置し、学校と地域が連携できる空間とします。

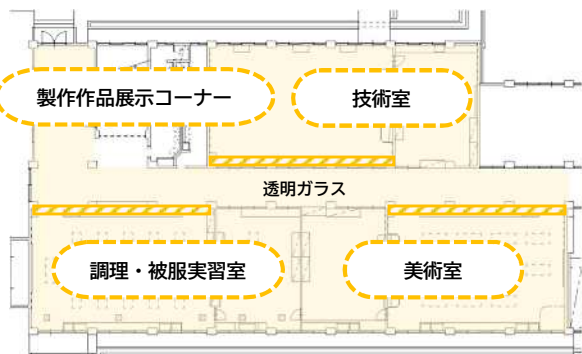
避難所機能を備えた空間

地域における防災機能の一つとして活用するため、バリアフリー化を進めるほか、多目的トイレや防災倉庫、畳スペース、炊き出し場所（調理・被服実習室の活用）を整備します。



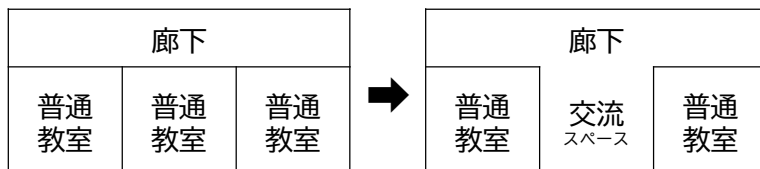
1階 創作ゾーン

技術室、調理・被服実習室、美術室を同一フロアに設置し、製作作品展示コーナーや廊下側の窓を透明ガラスにするなど、ゾーンの活性化を図ります。



2～4階 ユニット型普通教室ゾーン

2つの普通教室と1つの交流スペースを1ユニットとして配置することで、広い施設の有効活用を図るとともに、収納棚を教室外に配置し、教室のゆとりも確保します。



2～4階 小学生学びの場

校舎内に小学生を対象とした学びのスペースを確保し、特に、小中一貫教育における「中期」の学びの充実を図ります。

2階 機能性や居住性等を備えた執務空間

作業スペースやラウンジスペース、生徒とのコミュニケーションスペース、印刷・教材スペースなど、多様な業務に合わせて適切な場所が選択できる執務空間を整備します。

1・3階 部活動の地域移行に対応できる多様な空間

部活動の地域移行に対応する新たな活動拠点として、多様な特別教室等を整備します。

2・3階 学びの創造ゾーン

教育内容に対応した教室または教科等横断的な学習や探究的な学習の場など、多様な学習を展開できる空間を整備します。

屋外付帯設備工事の主な内容

中庭

- ・ アスファルト舗装
- ・ テラス新設 等

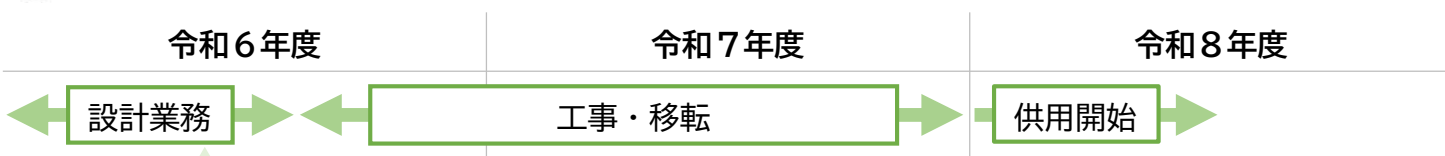
グラウンド

- ・ 車両用スロープ新設
- ・ 屋外トイレ更新 等

その他

- ・ 敷地内の植栽伐採
- ・ 自転車置場の撤去 等

スケジュール



R 6. 8月下旬頃、生徒・地域交流ゾーンの空間づくりに関するワークショップを開催予定！

お問い合わせ：光市教育委員会 ひかり学園推進課（担当：吉永、桑原、石川）

T E L : 0833-48-4051 F A X : 0833-72-7202